

第63回技能五輪全国大会「曲げ板金」職種 持参工具等一覧表

区分	品 名	規 格 又 は 寸 法	数量	備 考
工 具 類	PC一式	ノート型、デスクトップ型、タブレット型	1式	CADソフト対応で使用
	けがき針		1	
	セクタボンチ		1	オートボンチ可
	コンパス	コンパス脚の長さ50～400mm	3	ビームコンパス可(1000mm以下)
	スケール	300mm・600mm・1000mm	各1	
	自由定規	300mm程度	1	
	スコヤ	平・台付き 300～500mm	各1	平スコヤは曲尺でもよい
	トースカン又はハイトゲージ	約500mm	1	スクライバー3本、先端形状は問わない
	ノギス	400～600mm	1	
	プロトラクタ		1	
	測定(断面)ゲージ	SPCC t1.0又はAL t1.5	15	製作方法や形状は問わない、錆防止めのクリア塗装は可、展開での使用は不可
	測定定盤		1	
	マグネット		3	鋼製直方体に限る
	金切りばさみ	300～400mm	3	
	電気ばさみ	切断能力 4.5mm 以下	1	
	電気ドリル		1	バッテリー式であれば予備バッテリーと充電器を準備
	鉄工ドリル	ドリルの径問わず	適宜	ステップドリル・ホールソーも可
	金切りのこ	250～300mm	1	
	やすり		3	長さ、断面形状、目の粗さは問わない
	面取り・バリ取り		各1	
	6角レンチ	化粧ビス締め付け用	1	化粧ビス用
	スパナ	M5ボルト・ナット締付用	2	めがねレンチ、又はモンキレンチでも可
	板金ハンマ(からかみ)	口径5～30mm 頭長約120mm	1	
	片手ハンマ	約450g	1	
	ハンマ類	口径50mm程度、頭長200mm 程度	5	形状、材質は問わない(金属製は不可) アタッチメント式も可で1本とカウントする
	駒の爪ならし金敷(当て盤)	大きき口100mm以内 ※工具点検にて大きさを確認します	6	単独か支柱付き又は2頭式も可とする
	拍子木及び角材	口70x500mm以内 15×30×300以内	1 4	形状、材質は問わない(金属製は不可)
	平たがね	刃幅 15～25mm	1	
	影たがね	刃幅 90mm以下	3	形状、材質は問わない
	芯金	φ120mm程度 φ60mm程度 φ30mm程度	1 1 1	パイプ仕様の場合、反響音(金属音)が響く為内部に防音処置を行うこと。
	折台	角度 100° 巾 50mm 厚さ 10mm 長さ 1000mm	1	
	刀刃	300～700mm	1	
	シャコワ力又はハンドバイス		6	ロッキングブライヤー、バイスグリップも可 銅の当て板固定用に2個
	工具固定用治具	バイス口金への固定用	適宜	課題加工への直接使用は禁止
	叩き定盤	口450～600mm	1	長方形でも可
	専用	今大会での専用工具の使用は不可		
溶 接 関 連	ティグ溶接機	交直両用機	1式	三相200V、定格入力11.5kVA 以内、トーチ式、アースケーブル、及び一次側ケーブル含む。 なお一次側ケーブルの電源接続部は、圧着端子(取付用穴径8mm)が取付けられていること
	タングステン電極		3	電極径、種類は不問
	タングステン電極研磨機		1	電極研磨専用用品であること
	トーチ予備品		各1	ノズル、コレット、コレットボティ、トーチキャップ
	ティグ溶加棒	軟鋼用、アルミニウム用	4	棒径は不問
	溶接用ペンチ		1	ニッパー、通常のペンチ、やつどこでも可
	ワイヤブラシ		1	
	銅当て板	板厚5mm	適宜	長さ、形状は問わないが1kg以内とすること
	溶接作業台、作業椅子	600×1000mm以内	1	作業台の高さは不問、作業台に定盤の使用も可
	溶接用保護具		各1	遮光面、保護手袋、防塵(毒)マスク、耐熱シート
	溶接用遮光ついたて		1	作業台を3方向囲われる物、アーク光が見える物でも完全遮光でも可
	ガス容器開閉用レンチ	アルゴンガス用	1	
	圧力調整器	アルゴンガス用	1	
	ガス固定台車	アルゴンガス用(7m3用)	1	移動用でも可
	冷却水、点検水		適宜	溶接冷却用とガス漏れ点検用
	CAD用デスク・チェア		各1	
	穴あけ用ドリル台		1	穴あけ作業でのみ使用可
	セキュリティワイヤ		1	
	振り子時計キット	針も含む、長さ不問	1式	
そ の 他	時計		適宜	
	電卓		1	プログラム機能のないもの
	はさみ	下敷用フィルム、テープ類切断用	1	カッターの使用は禁止
	材料保護用シート(不燃シート)	口500～1500mm	1	長方形でも可
	ウエス・テープ類		適宜	
	ゴム板、下敷用フィルム		適宜	
	マジック・青ニス除去剤・防錆油		適宜	
	踏み台		適宜	
	荒神ぼうき		適宜	刷毛等でも可
	照明器具・延長コード		適宜	
	飲み物		適宜	

注意 1. 使用する工具等の種類と数量は上記に限られるが、予備としての用意は可能である。

2. 使用する必要がないと思われる工具等は持参しなくてもよい。

3. 溶接機を電源に接続する為に必要と思われる工具は、別途持参すること。

4. アークテスト用の材料は、別途持参すること。

5. 競技終了後は、材料を作業台の上に載せる等の措置をおこなうこと。その為に必要と思われるテーブル等は持参すること。